



せいらんそう

社会福祉法人
芳香会誌
第 10 号
2010年1月発行



『トントントン・・・』長年の経験で培われた小気味良い包丁捌き
養護老人ホームでは、【菜園クラブ】で育てた野菜を【調理クラブ】でお漬物にしています

もくじ

CONTENTS

巻頭言 2
会報「せいらんそう」
創刊10号の歩み 2

医療系職員の紹介
看護師・理学療法士
作業療法士
管理栄養士・薬剤師 3

高齢者施設トピックス
ケア・アシスタンス 4
特別養護老人ホーム 4
養護老人ホーム 4
ご協力
ありがとうございました
障害児・者在宅部門
10周年記念祭 5

実務研究発表会
& 芳香会芸術祭 5
「ツグミ」運営開始 5

芳香会活動報告 6
芳香会スケジュール 6
編集後記 6



巻頭言

三つの目標を掲げた社会福祉法人の運営



社会福祉法人芳香会

理事長 宇留野 光子



私が法人本部体制作りを始めたのは平成十七年度からでした。今年度で五年目をむかえ、経営は法人 運営は各事業所 を目指し業務を進めてきました。そして現在、本部機能が少しずつではありますが、発揮できるようになりました。特に今年度より、六つの委員会制をしき三十数名の担当者が個々の分野の充実に努めています。

このような体制を取ってきた要因は、従来どおりの福祉事業体系のみを維持するだけでは存続が困難になってきたこと

様々な法令に則した事業展開や、異業種から学び実践していくことが必要となってきたこと
 どのような仕事でもそうですが、【自ら考え・自らが作り上げる】三代目の理事長として、今後の福祉法人の運営のあり方を模索しながら業務を進めていく所存です。

さて、ここでは今後実施して行くことを三つほど挙げてみたいと思います。

一つ目は、新たな事業の実施。

重度の身体障害者を対象としたケアホームを設置準備することです。在宅生活をしていくことの選択肢が増えることは大変喜ばしいことでもあります。この事業を実施することが大変であることは充分推測できますので、最低二ヶ年の時間が必要と考えています。

国際貢献事業として、就労者支援と車いすの再利用活動を考え準備開始しています。

二つ目は、職員の福利厚生充実です。【日本でいちばん大切にしたい会社】と言った本の中で第一番目に「社員とその家族をしあわせにすること」が会社の使命と責任であると書かれてあります。恥ずかしいことですが、今まで福祉事業を遂行することを当然とし、このような発想の薄かったことは否めません。今後は形に現して行くこと考えます。

三つ目は、地域社会に貢献できる活動を続けて行くことです。現在までに空き缶集め・エコキヤップ・花壇の維持・子ども会へのお手伝い等の小さな活動がスタートしました。

利用者と職員が協力し合い、相互の時間を提供することがこの活動の原点だと考えます。



会報「せいらんそう」 創刊10号の歩み

	創刊準備号	創刊号	第2号	第3号	第4号	第5号	第6号	第7号	第8号	第9号
発行年月	2006年10月	2007年2月	2007年6月	2007年11月	2008年2月	2008年7月	2008年12月	2009年3月	2009年6月	2009年10月
発行部数	2,000部	1,200部	1,300部				1,400部			
掲載内容	・What is 芳香会? ・次世代育成 ・地域の福祉をお手伝い	・古河地区在宅事業所移転セレモニー ・配食サービスへの取り組み	・平成19年度の抱負 ・児童福祉月間を終えて	・障害者の地域生活を目指して(ケアホーム開設・地域移行プロジェクト)	・地域生活を支える(障害児者地域療育等支援事業)	・高齢者の在宅生活を支える(訪問看護15年の歩み・訪問介護・配食サービス)	・特集「重症心身障害児施設(重症心身障害の人の暮らしの充実を目指して)」	・特集「高齢者雇用)若い者には負けられない)」 ・高齢者施設比アップ	・3年目を迎えた託児所ひばり ・子育て支援補助 ・障害児者施設比アップ	・障害者雇用の取り組み ・次代への継承(実習指導状況) ・児童福祉施設比アップ

医療系職員の紹介

芳香会では、現在、看護師や薬剤師、レントゲン技師や理学療法士、作業療法士など、様々な医療系職員約八十名が勤務しております。保健・医療・福祉の連携の重要性がいつそう問われている中、今号では、当法人で勤務する医療系職員に焦点を当て、紹介させて頂きます。

【青嵐荘特別養護老人ホーム 佐藤看護師】



「基本に忠実」をモットーに、看護師として十六年、現在の職場で勤務して八年になります。検温や血圧測定等による「体調管理」が業務の中心であり、体調不良の方には精神面や排泄面もチェックしながら、必要な対応を行い、様子を観察します。異常があると判断

した時は、早急に医師に報告をして指示を仰ぎ、必要に応じ、ご家族に連絡します。また、今の時期は、インフルエンザ対策として介護員や介助員と連携を図り、日中・夜間ともに居室や廊下等の館内に「紅茶噴霧」をしています。

今年度は、インフルエンザ予防接種率一〇〇%とすることができ、また、職員に対し継続的に説明や説得を行った結果、健康診断受診率を一〇〇%とすることができました。検診後フォロワーでの指導事項を守り、次回の検診時に好結果に繋げることができたことは、看護師としての役割が報われたと感じる嬉しいひと時です。

【青嵐荘つくし園 吉田理学療法士】

理学療法士として当法人で勤務し九年、つくし園に異動して三年となります。主な業務は、障害がある方の関節の動きや筋力低下に対する治療、歩行障害に対するバランス訓練や歩行訓練、日常生活動作の改善にむけた環境整備や動作訓練等です。

疾患は同じであっても、障害は個人により違うという事を念頭におき、また、できない事はばかり目を向けるのではなく、できるところはどこかに気がつき、生活の質の向上に繋げていけるよう心がけ業務を行なっております。



【青嵐荘ケア・アシスタンス 神田作業療法士】



ケアで作業療法士として勤務し七年になります。リハビリという言葉から想像される『立つ・歩く』等の基本動作の他、利用者が生活動作をより行いやすくできるよう、トイレや移乗動作などの練習や福祉用具選び、また、ご自宅へ帰る際にご家族への介護指導を行っています。

利用者がこれまで困難であった動作を獲得できた際、それまでの過程に携わることができたこと、その達成を共に喜ぶことができた時、それが自分の仕事の励みになっています。

【青嵐荘療護園 塚原管理栄養士】



管理栄養士として十年、当法人では最初、療育園に勤務し、その後療護園に異動して二年となります。主な業務は、献立の作成や調理委託業者との調整等の「栄養管理」と「給食管理」になります。利用者個々のニーズに対応した栄養管理はもちろんのこと、利用者の皆様が食を通して季節を感じ、楽しんで頂けるような食事を提供できるよう心がけています。

現在、利用者の希望を取り入れた「リクエスト献立」を実施していますが、とても嬉しそうな様子が伺えたり、「美味しかったよ」とのご意見を頂くことができ、今の仕事のやりがいを感じております。

【芳香会病院青嵐荘療育園 初見薬剤師】

薬剤師として二十七年、療育園の勤務が一年目になります。医薬品の調剤や管理を行ない、一週間分の定時薬の調剤、毎日の水薬と臨時薬の調剤、また、医薬品の発注、在庫管理が主な業務内容になります。

仕事をする上で一番心がけている事は「調剤ミスをしないうちに、そのための工夫も怠らない事」です。単調になりがちなので、メリハリを付け、楽しく仕事をしたいと思っています。



高齢者施設トピックス

地域の高齢者とともに 青嵐荘ケア・アシスタンス

ケア・アシスタンスでは、「地域貢献」の一環として、今年十月に地元地域の老人クラブとの交流会を開催致しました。

法人本部事務局やケア・アシスタンスがある古河市上大野地区並びに隣接する稲宮地区では、既に六十五歳以上高齢者の数が減少し始め、老人クラブの活動も内容を縮小化してきているとの話しを伺っていたため、活動を共にすることにより、施設の有する知識や技術を供与し、地域の高齢者の介護予防に貢献できればと考え企画致しました。

両地区の老人クラブ会長のご協力のもと、活動拠点としている集落センターを借用し、総勢三十八名のクラブ会員の方々にご参加いただきました。ケア・アシスタンスの通所リハビリテーションサービスのご利用者二十三名とともに、約一時間半にわたり、自宅でも簡単にできる体操などで、楽しみながら汗を流していただきました。また、終了後の茶話会では、クラブ会員と通所リハビリ者という垣根を越え、昔話に花が咲きました。

このような活動を通じ、地域の福祉に少しでも貢献できるよう、これからも定期的に実施していきたいと考えております。



せくらん せくらん 青嵐荘特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームでは、施設内の行事において職員による踊り、その名も「せくらん節」を披露しております。

この「せくらん節」は、「ソーラン節」と「青嵐（せいらん）」を掛け合わせたもので、「ソーラン節」を独自にアレンジしております。

これまで施設内の行事においては、外部団体にお願ひし演奏などを披露していただくこともありましたが、以前、テレビの学園ドラマで生徒が「ソーラン節」を踊っている姿を見て感動した職員が、自分達でもやってみようという提案し、昨年夏の夕涼み会から披露し始めました。十五名程度の介護職員が中心で、業務終了後の夜間帯に練習し、既に敬老会なども含め四回ほど披露しております。



練習時間が限られてしまいうち、常に向上心を持ち夜遅くまで練習を行い、衣装なども創意工夫することにより、「ご利用者のために」との想いが強く伝わり、感動を与えております。ご利用者も泣いて笑って「せくらん、せくらん」と応援してくれます。

今後も新しい振り付けを取り入れるなどオリジナルティーを追及し、青嵐荘らしさを表現していきたいと考えております。



取れたて野菜自給自足 青嵐荘養護老人ホーム

養護老人ホームでは、「ご利用者の余暇活動の一つに」「菜園クラブ」があります。施設の北側にある畑で季節ごとの野菜を育てております。昨年の冬場に畑の土作りをしたおかげで今年には豊作でした。

これまで育ててきた野菜はナス、キュウリ、トマト、ピーマン、ジャガイモ、サツマイモなどです。スイカの栽培にも挑戦し、立派な物を収穫することができました。

ジャガイモやサツマイモは、たま保育園の園児と一緒に種芋や苗を植え、七月と十月に芋掘りを行いました。収穫した物は、それぞれカレーやけんちん汁などに調理し、園児、利用者、職員が一緒になって夏と秋の味覚を楽しみむことができ、また園児の食育にも一役買ってまいります。

現在は収穫した大根で「調理クラブ」の参加者が漬物を作り、みんなでおいしくいただいております。

施設で生活されるようになり、しばらく台所から離れてはいてもご利用者の手に長年の経験で染み込んだ包丁捌きはすばらしく、トントンと小気味良いリズムが響き渡っております。その音を聞いて他のご利用者も集まり、若い頃に作った料理の話して盛り上がりです。

これからも「自分達で育てた野菜を自分達で食べる」という楽しみを感じていただながら生活を送っていただけるよう、ご利用者の方々の生活を支えていきたいと思っております。



「協力ありがとうございました」

障害児・者在宅部門 十周年記念祭



平成二十一年十月十七日
通園事業・地域療育等支援事業十周年記念祭が開催されました。雨が心配されましたが、天候には恵まれ屋外入り口に手作りの記念アーチを飾ることが出来ました。当日は、六十一名のご利用者・ご家族が参加され、職員と共に十周年の歩みを振り返りながら、楽しいひと時を過ごしました。アートラクションでは、歌のお姉さんを招き、賑やかに歌や手品を楽しみました。おやつバイキングでは、厨房スタッフの手作りパンやお菓子の家など様々なおやつが提供されました。お腹がいっぱいになった所で、通園事業十周年の歩みとしてDVD上映を実施しました。まだあどけない表情が懐かしく、参加者の中には当時の思い出が巡ったのではないのでしょうか。また通園利用者の皆様には、健康で通園できた事への表彰状を作成し一人一人に手渡ししました。

今後とも皆様が元気に在宅事業を利用して頂くことをスタッフ一同願っております。

実務研究発表会&芸術祭

十一月初旬、古河福祉の森会館をお借りして、実務研究発表会と芸術祭を開催しました。

実務研究発表会は職務から得た研究成果を発表する催しです。他法人の方にもご参加頂き、緊張感のある発表となりました。また筑波大学大学院教授安梅勅江先生に「地域の活性化」「エンパワメントの重要性」について講義を頂きました。対話や問題意識と仲間意識の高揚の重要性をより知る事ができました。

芸術祭では「エゴ」をテーマに取り上げました。来場者からは「作品の制作方法を知りたい」との言葉を頂き、さらに実演コーナーでは利用者と共に製作を行う方も見られました。数々の作品の中でも、青嵐荘路のとう舎の作品「どんぐりころころ」が一番人気となっていました。

両事業とも、地域との交流や芳香会内の啓発の為、今後も継続して参ります。ご参加頂いた皆様にご協力を深く感謝しております。

実務研究発表会 審査結果

	施設名	発表テーマ
★最優秀賞	青嵐荘特別養護老人ホーム	ケアカンファレンスへの家族参加の意義と効果
優秀賞	青嵐荘つくし園	和太鼓活動の地域進出～地域における障害者支援施設の役割～



アイディア賞：どんぐりころころ
青嵐荘路のとう舎



優秀賞：メジロ
青嵐荘ケア・アシスタンス



優秀賞：かようおさかな博物館
青嵐荘療護園

「次世代育成行動計画 「ツグミ」運営開始



芳香会では次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と子育てを両立させることができる働きやすい環境づくりとすべての職員がその能力を十分に発揮できるように「次世代育成行動計画」を策定しています。

その一環として、平成二十一年十二月二十二日より大野地区に続き、結城・尾崎地区に事業所内保育施設「ツグミ」を開設しました。「ツグミ」の開設には、多くの職員にご協力を頂いています。「ツグミ」の名称は、四十名以上の職員から案を頂き、鈴木事務員(法人本部)の案を採用させて頂きました。また、石川介護員(特養)を初めとする職員の方には、家具(二点)、家電製品(二点)、又イグルミやおもちゃ(多数)といった寄付を頂きました。「ツグミ」だけでなく上大野地区「ひばり」にも、たくさんの方のイグルミやおもちゃの寄付を頂いております。利用している子どもたちの間で取り合いになることも有ったようです。これもひとえに皆様の御協力によるものと深く感謝申し上げます。

今後とも芳香会では、職員にやさしい職場づくり、そして地域への雇用の提供に努力してまいります。



ありがとうございました



芳香会活動報告

芳香会では、平成二十年より、空き缶リサイクル活動を開始、エコキャップ、エコドライブと少しずつエコ活動を広げてきました。また、二十一年八月より紙資源の回収方法を変更し、自力での持ち込みを行い、収入を得る事が出来るようになりました。今後も続けて参りますので、皆さん一人一人のご協力を重ねてお願い致します。

ここで昨年度「エコ安全ドライブコンテスト」(日本興亜損害保険株式会社)の結果について報告させて頂きます。目標を5%燃費改善としていましたが、見事達成入賞し、賞状を頂きました。今年度も参加させていただきます。また、二十一年十二月、二十二年二月、あいおい損害保険株式会社「無事故推進運動」に参加しております。こちらは毎日の安全運転や違反、事故の結果をカレンダーに記録し、施設内会議の機会に定期的に報告、目に見える効果で安全運転への意識付けを図るものです。こちらの安全運転の基本もエコと安全を兼ねた「エコ安全ドライブ五ヶ条」となります。

最後に、これまでの活動の成果を左記に報告させていただきます。今後も芳香会の活動にご支援の程お願い致します。

アルミ缶 (H20.3~H21.11)

7,227kg
¥645,665

スチール缶 (H20.4~H21.11)

23,440kg
¥318,774

エコキャップ (H20.10~H21.11)

224,080個
ポリオワクチン280.1人分
1.765kgの二酸化炭素の削減

紙資源

(H21.8~H21.11)
ダンボール・新聞紙・雑誌・牛乳パック

2,380kg
¥5,630

職員福利厚生

家族に感謝デー

平成二十一年度第二回職員福利厚生として、十二月十一日にマルティーナフランクにおいて「家族に感謝デー」を行いました。

この企画は、十年以上勤続の職員及び日頃支えて下さっているご家族に感謝し、楽しいひとときを過ごして頂くというものです。

約五十名の方々にご参加頂き、お笑い芸人「ダブルダッチ」「高円寺パルサー」をお招きし、食事を楽しんで頂きました。また、十年以上管理者としてご尽力頂いている施設長へは記念品の授与を行いました。

今後より良いサービスを提供できますよう、皆様、お力添えお願い致します。



芳香会スケジュール

- 一月二十六日 個人情報保護推進研修会
- 三月五日、六日 二十二年度新任職員研修会
- 十一日 法人内ヒアリング
- 十五日 役付職員研修会
- 十九日 評議員会
- 二十日 理事会
- 二十日、四月七日 高校生インターンシップ
- 二十四日 求人担当者研修会
- 二十九日 入社式・辞令交付式

編集後記

【変革と初心】先日ある会社の六十周年記念誌に記入した言葉です。異なった言葉の組み合わせですが現在の心境です(光)

美味しいごちそうと面白いお笑いショーを堪能させて頂いた「家族感謝デー」。おまけにサイン争奪ジャンケンで勝ち残り、見事ゲッツすることができました。実は「ダブルダッチ」のお二人と自分は同じ誕生日。運命的なものを感じた一日となりました。(浩)

雑巾を洗う水が冷たいので簡易温水器を作るとのこと、先日、子供が学校にペットボトルを数本持参しました。水を入れて日向で温めておくそうです。小さなエコ活動です。子供はエコを学びながら温かい水を使用できる、先生のアイデアに感心しました。(房)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027(代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp

写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。